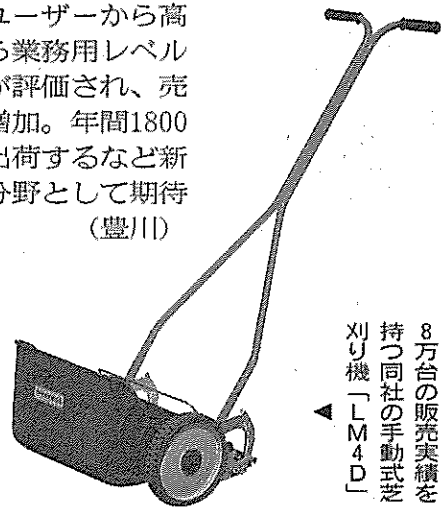


# 家庭用芝刈り機 品質業務レベル



8万台の販売実績を  
持つ同社の手動式芝  
刈り機「LM4D」

るが、ガーデニングを楽しむ個人ユーザーから高価格ながら業務用レベルの高品質が評価され、売り上げが増加。年間1800台以上を出荷するなど新たな成長分野として期待がかかる。(豊川)

芝生の状態がプレーを左右するゴルフ場やサッカー場の芝刈り用などに高い評価を受けている。

業務用芝刈り機などを製造する共栄社(本社豊川市美幸町1の26、林雅巳社長、電話0533・84・1221)は、家庭用芝刈り機の販売に注力する。主に直営のインターネットショップを通じて販売す

る。家庭用も30年以上前から製造しているが、量販店などで販売される他社製品に比べて高価格なことから年間3000台程度の販売にとどまり、家庭用からの撤退も検討していたという。対応策として5年前、ネット上に直営ショップを開設したところ、従来の芝刈り機の性能に満足できなかったガーデニング愛好家などから注目が集まるようになったという。

## 高価格でも年間1800台以上出荷 共栄社

業務用譲りの基本性能を持つ同社の芝刈り機は、日本刀のような硬さと適度な粘りを持つ精度の高い刃先で耐久性に優れ、適度な刃合わせで芝生の切断面がきれいに仕上がる。手動式で5万円以上という高価格ながら現在は年間1800台以上を出荷し、手動式は8万台以上の出荷実績がある。30年間、同社の芝刈り機を愛用するユーザーもいるという。

林雅巳社長は「業務用が中心のため、ネット販売を始めるまでは当社の製品そのものを知らない一般の人が多かった。高価格のため迷いながら購入するお客様も多いが、芝生が生まれ変わって感動したなど満足度は高い」と話す。

直営のネットショップには専門の担当者を配置。芝刈り機本体以外にも芝生のケア用品や、ガーデニング関連の資材などもネット販売できるようにしたワンストップの利便性も、売り上げ増に結びつく要因になっているという。今後もガーデニング愛好家の広がりや、愛知県内でも学校の緑地化の動きなど芝生をはる場所が増えていることから、引き続き家庭用芝刈り機の販売に力を入れる方針。